

○後発(ジェネリック)医薬品使用の取り組み

当院では、患者さまの医療費負担の軽減と我が国の医療費効率化を目的として、入院および外来において、後発(ジェネリック)医薬品の使用に積極的に取り組んでいます。院外処方箋においては、銘柄を指定しない「一般名処方」として、保険薬局の医薬品の供給状況等に配慮しています。

現在、一部の医薬品で十分な供給が難しい状況が続いています。医薬品の供給が不足した場合は、処方変更や治療計画の見直し等で適切な対応ができる体制をとっています。状況によっては薬剤が変更となる可能性があります。その場合には十分な説明をさせていただきます。

当院における 医薬品の処方について

当院では、入院及び外来において後発医薬品(ジェネリック医薬品)の使用を積極的に行っています。

現在、一部の医薬品について 十分な供給が難しい状況が続いています

当院においては、万が一、医薬品の供給が不足した場合には、処方の変更等適切に治療計画等を見直し、患者さまへ十分な説明を行う体制が取られています。また、院外処方箋においては、銘柄を指定しない「一般名処方」として、保険薬局の医薬品の供給状況等に配慮しています。



今までも。これからも。



ジェネリック医薬品(後発医薬品)は、新薬(先発医薬品)の特許が切れた後に製造販売される、**新薬と同一の有効成分を同一量含み、効き目が同等な医薬品**のことです。

その先には、ひろがる笑顔。

安心・信頼

Anshin Shinrai



国の厳しい審査をクリア

ジェネリック医薬品は、国の厳しい審査をクリアしたものが承認されています。有効性や安全性、品質も新薬と同等です。

低価格で個人負担が軽くなる

新薬と同じ有効成分を使用し、開発費用が抑えられるので、低価格です。医療の質を落とすことなく、経済的負担が軽くなります。

未来

Mirai



医療費を有効活用

個人負担の軽減だけでなく日本全体の医療費の効率化が可能です。その医療費は新技術や新薬の導入に活用できます。

医療保険制度を次の世代に引き継ぐ

少子高齢化が急速に進む中、現在の優れた医療保険制度を維持し、子どもたちや次の世代に引き継いでいくことに貢献します。

ジェネリック医薬品を希望される場合は、医師・薬剤師にご相談ください。

ジェネリック医薬品に関する情報は

厚生労働省 ジェネリック 検索



健康保険組合連合会

国民健康保険中央会



全国健康保険協会
協会けんぽ

国家公務員共済組合



厚生労働省